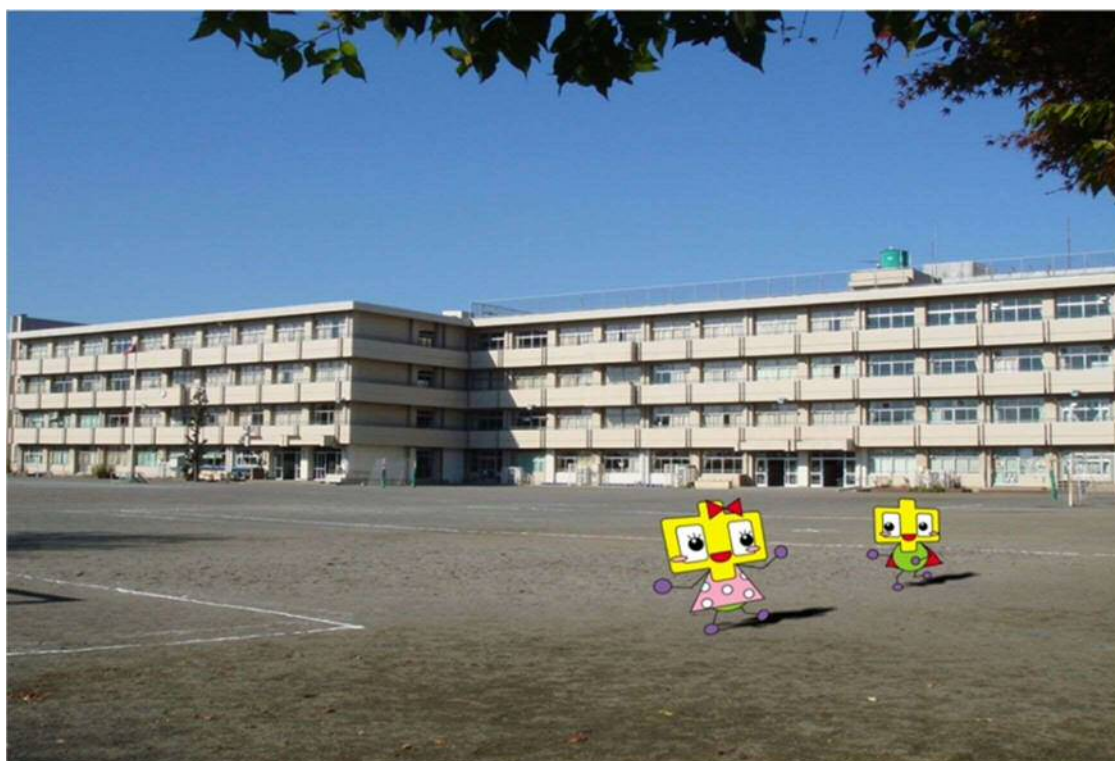


**令和4年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和4年12月
海老名市立中新田小学校**

令和4年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語, 算数・数学及び理科)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

(2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和4年4月19日(火)

※児童生徒質問紙調査については、端末を活用したオンラインによる回答方式で実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し言葉と書き言葉との違いを理解することができるかどうかをみる。
- ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えることができるかどうかをみる。
- ・必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容の中心を捉えることができるかどうかをみる。
- ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・人物像や物語の全体像を具体的に想像することができるかどうかをみる。
- ・表現の効果を考えることができるかどうかをみる。
- ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるかどうかをみる。
- ・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるかどうかをみる。
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。
- ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 「言語についての知識・技能」や「心情理解」においては、全国平均を上回っている。選択肢の問題形式では、概ね正答を選ぶことができている。
- 登場人物の行動や気持ちについて、叙述をもとに捉えることができている。

◆課題のある点

- 「読むこと」では、人物像や物語の全体像を具体的に想像するところに課題があると考えられる。
- 言語についての知識がある一方で、知識を活用して、表現することに課題があると考えられる。
- 「話すこと・聞くこと」では、相手の伝えたい話の中心を捉えて聞くことに課題があると考えられる。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 現状児童ができていない言語の習得については、今後も維持、向上できるように継続して指導に取り組んでいく。(モジュール学習の時間や家庭学習等における取組みの指導等)
- 文章を読む力を育むために、詩や物語、説明文や伝記などを読んだ際には、文章構造と内容の把握を学年の実態に応じて行い、内容を説明したり、考えたことを伝え合ったりする活動を取り入れていく。また、朝読書・本の紹介・電子図書の活用を行い、教科書以外で文章に触れる機会を多く持たせる。
- 書く力を育てるために、国語の時間に感想を書いたり、他教科でも授業の終末に書く視点や分量を指示した上で振り返りを書いたりして、書くことを習慣化していく。
- 朝の会等で、1分間スピーチなどを取り入れ、テーマに沿った自分の経験や体験を言語化し、伝える力を育てていく。また、感想や質問を伝え合うことで、聞く力も育てていく。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・二つの数の最小公倍数を求めることができるかどうかをみる。
- ・示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できるかどうかをみる。
- ・示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できるかどうかをみる。
- ・百分率で表された割合を分数で表し、基準量から、比較量を求めることができるかどうかをみる。
- ・示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる。
- ・二つの数量が比例関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。
- ・全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができるかどうかをみる。
- ・分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できるかどうかをみる。
- ・目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・加法と乗法の混合した数の求め方を解釈し、他の場合の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。
- ・正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できるかどうかをみる。
- ・長方形・ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解しているかどうかをみる。
- ・作図手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 「数と計算」では、被乗数に空位のある整数の乗法を正確に計算することができる。
- 「図形」の思考・判断・表現では、正三角形の意味や性質をもとに、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察することができる。また、知識・技能では、図形を構成する要素に着目して、長方形・ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解することができる。

◆課題のある点

- 「変化と関係」では、問題場面の数量の関係に着目し、基準量、比較量、割合の関係や、伴って変わる2つの数量の関係について考察することに課題があると考えられる。
- 「数と計算」では加法と乗法の混合した立式を考えることに課題があると考えられる。
- どの領域においても、記述式の問題形式の無解答率が高い。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 「変化と関係」では、日常の具体的な場面や事象を材料とし、伴って変わる二つの数量そのもの、及び変化の仕方に気付かせ、関係を表や式を用いて変化や対応の特徴を考察していく。また、学習した内容を活用する場を意図的に設定し、規則性の活用について理解を深めていく学習を取り入れていく。
- 基礎・基本の定着を目指し、どの領域においても考えたことを言葉や式、図に表したり、式を自分なりの言葉で説明したりする活動を多く取り入れていく。また、答えを導き出す過程を板書等で可視化し、課題解決できる力を養っていく。

小学校 理科

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えを持つことができるかどうかをみる。
- ・問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えを持ち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・昆虫の体のつくりを理解しているかどうかをみる。
- ・提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えを持つことができるかどうかをみる。
- ・他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えを持つことができるかどうかをみる。
- ・メスシリンダーという器具を理解し、正しい扱い方を身に付けているかどうかをみる。
- ・問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えを持つことができるかどうかをみる。
- ・他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えを持ち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・日光は直進することを理解しているかどうかをみる。
- ・実験の過程や得られた結果を適切に記録しているかどうかをみる。
- ・実験や観察で得た結果を解釈し、自分の考えを持ち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えを持つことができるかどうかをみる。
- ・結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えを持つことができるかどうかをみる。
- ・水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解しているかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 昆虫の体のつくりや実験器具の名称など、基本的な知識・技能は身に付いている児童が多い。
- 問題に対するまとめを導き出すことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録することができる。

◆課題のある点

- 思考・判断・表現に関する設問に対して課題があると考えられる。特に、自然の事象や現象から得た情報を分析しているものの、観察、実験などの方法を具体的に見通して解釈し、自分の考えを持ち、その内容を記述することに苦手意識を持つ児童が多い。
- 実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、考察することに課題があると考えられる。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 名称や実験結果等、基礎・基本の学習内容は身につけることができているので、課題解決のためには、どのような実験をすればよいかを身につけた内容を活用して考えさせることで、実験の意味を考えさせていく。
- 観察・実験において、根拠を元に自分の予想をしっかりと持たせた上で、小グループでの話し合い活動などを行い、他者と意見交換する場を増やしていく。そのことを通して、自分の考えを整理したり、新たな考えを生み出したりする等、考えを深められるようにしていく。また、得られた情報を全体で比較し、何が分かったのかなど、考察に力を入れていく。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

○国語や算数、理科の学習が大切だと感じる児童が全国平均より高く、学習に真面目に取り組もうという意欲を持っている児童が多い。

◆本校の課題と思われるところ

○「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うか」について消極的な回答が目立った。他者と交流をする中で、自信をつけたり、考えを広げ、深めたりする経験ができるよう工夫する必要がある。

○「自ら考え、自ら取り組む学習をしていたか」について消極的な回答が目立った。

生活について

◆本校のよかったところ

○「朝食を毎日食べている」と回答した児童の割合が高く、ほとんどの児童が朝食をとってから登校できており、家庭での協力が得られている。

○「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」と考えている児童の割合が高く、前向きに自分の将来を考えている児童が多い。

◆本校の課題と思われるところ

○「自分には良いところがある」と回答した児童が全国平均よりやや低い。学校生活の様々な場面で、児童の良さを引き出し、自信を持てる機会を作れるよう工夫する必要がある。

○「毎日同じ時間に寝ている」と回答した児童が全国平均より20ポイントと大幅に低い。家庭での過ごし方に「テレビや動画、ゲーム、SNS」と回答している児童も多かった。

○「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うか」の問いに対してあまり思わないと回答した児童が全国平均より10ポイント以上低かった。意見の相違に対して、建設的な議論を行ったり、それを楽しいと思ったりする経験が不足していると思われる。

今後の具体的な取組について

○与えられた課題に対して真面目に取り組む態度が身につけているところはよいところであるが、自分で課題を見つけて取り組むことに難しさを感じている児童が多いことがわかった。授業中や、家庭学習の課題などでは、自身の苦手を見つけ、何をどのように学習するのが効果的なのかを意図的に考える機会を多く持たせていく。

○授業中に眠気を訴える児童がよく見られる。今回の結果からも、同じ時間に寝る習慣が身につけていない児童が多いことがわかった。動画やゲーム、SNSの影響も大きいと思われる。健康や学校生活に支障が出ないよう、児童への指導だけでなく、家庭への周知や連携も行っていく。

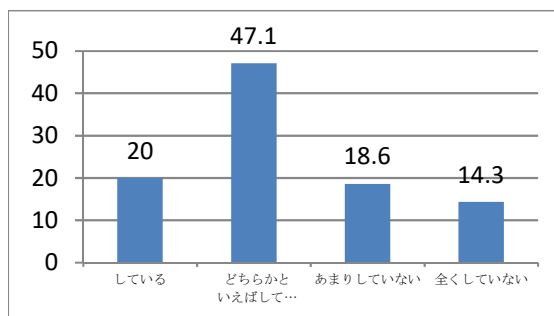
○話し合い活動では、友だちと意見が異なることは当たり前であるとの認識に立ち、その上で自分の意見を上手に伝えたり、違う意見でも肯定的に聞いたりする経験を持つ機会を学校生活の中で作っていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 規則正しい生活をしましょう。

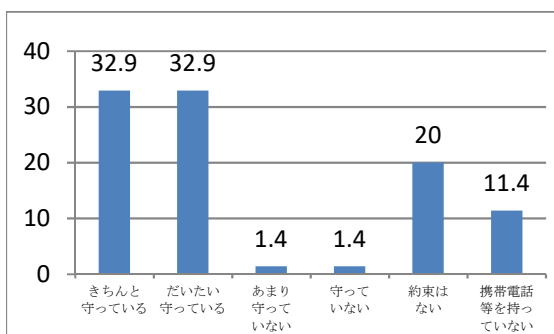
「早寝・早起き」ができるよう、寝る時間を決めて習慣づけましょう。規則正しい生活を送ることで、活動や学習のための心と体の準備ができます。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

2 家庭でルールを決めましょう。

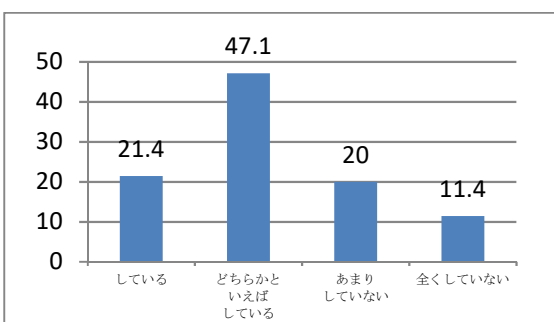
ゲームや動画、SNSに費やす時間と使い方について、家庭で話し合い、約束を確認しましょう。



携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

3 自分で計画を立てて学習に取り組む習慣を身につけましょう。

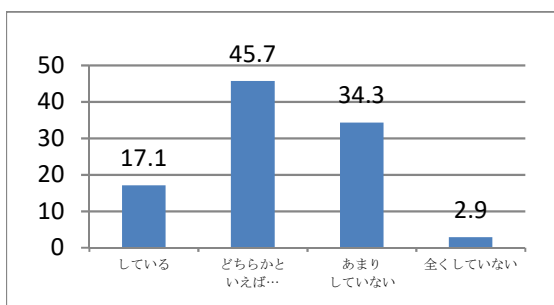
今自分に必要な学習を精選し、学習の内容を吟味して、効率よく効果の高い学習方法を考える習慣を身につけましょう。



家で自分で計画を立てて勉強していますか。

4 失敗は成長するチャンスです。

失敗することを恐れるのは当たり前のことです。まずは、大人が安心して失敗をして大丈夫だと思わせてあげてください。失敗しても受け止めてもらえる安心感があれば、挑戦する勇気をもつことができます。そして、それを大きく成長するチャンスととらえさせたいです。



難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。

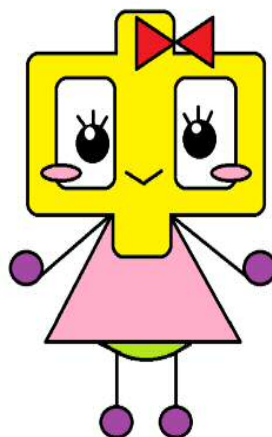
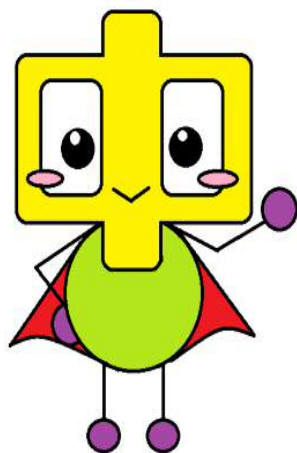
結果の公表にあたって

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- 公表することによって、保護者や市民の皆様にも市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係